



## 関節リウマチ手術〈人工関節について〉

関節リウマチは関節が炎症をおこして痛くなるのと同時に、骨や軟骨を破壊することにより、関節が変形してしまう病気です。関節リウマチの治療はこの20～30年で驚くほど進歩し、関節破壊が進行してしまう例は少なくなりました。

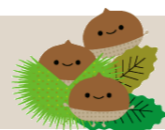
しかし、治療薬に対する副作用、もともとある合併症・併存症のため治療困難性、治療効果不十分、治療の遅れ等のため、残念ながら関節変形が進行してしまう患者さんが一定数います。

そして、関節リウマチで破壊された関節は残念ながら元には戻りません。失われた関節機能を回復する手段の一つに人工関節があります。

今回は、関節リウマチで使用可能な人工関節、特に小関節（手首、足首より先）の人工関節についてご紹介したいと思います。



### ①関節の名称の確認



### 手の人工関節



### ②手指の人工関節（親指以外）

2023年現在、手指の人工関節はMP関節、PIP関節に対して使用できません。材質は大きく分けて金属とシリコンがありますが、関節リウマチの患者さんは骨が溶けていることが多いので、溶けた骨にも使えるシリコンインプラントを通常用いています。

術後経過がよければ、写真のように非常に良く動く関節になります。（元の関節の状態によって、大きく違います。）人工関節の寿命ですが、10年以内に入れ替え手術が必要な方は約10%です。



〈右薬指 PIP 関節人工関節の術後〉



〈左人差し指～小指（4本）のMP関節人工関節の術後〉



### ③手指の人工関節（親指）

母指 MP 関節の変形に対しても人工関節を行うことがあります。しかし、母指は他の指よりも力を必要とする指ですので、力を入れることができる固定術をお薦めする場合も多いです。母指 MP 関節の人工関節も当院ではシリコンインプラントを用いております。人工関節の寿命ですが、10年以内に入れ替え手術が必要な方は約20%です。他の指に比べ力を入れることが多いためと考えられます。母指の IP 関節については、ほとんどの場合、関節固定術が推奨されます。



### ④手関節の人工関節



手関節の人工関節は国内では一つのみ使用可能です。しかし、人工手関節は長期成績に劣るのが実情で、海外の報告では10年以内に入れ替え手術が必要だった患者さんの割合は20~70%と報告されています。長期耐用性が十分でないと考えられ、当科では残念ながら採用しておりません。

### 足の人工関節



### ⑤母趾 MTP 関節の人工関節

足の親指の付け根の関節（MTP 関節）には人工関節があります。人工関節の寿命は、3年以内に入れ替えが必要な割合が25%程度、10年で40%程度であり、長期成績が良いとは言えない人工関節です。ただ、足の指が硬いと歩行が不安定になることがあり、動きを出すことができるというメリットがあります。



### ⑥足関節の人工関節



足関節の人工関節は近年、耐用性が上がってきました。当科で主に用いている人工関節は2種類です。一つは足首の前方の皮膚を切開して挿入する人工関節です。このタイプの人工関節のメリットは手術時間が短めであることがあります。長期耐用性ですが、入れ替え手術割合は、7年以内の4%と報告されています。当科では、5年で7%であったと報告しています。

もうひとつのタイプの人工関節は足首の外側から挿入する人工関節です。腓骨という外くるぶしの骨があるため、腓骨を切ってから人工関節を挿入するため、やや手術時間がながくなること、手術を終える前に腓骨をプレートで固定する必要があることがデメリットですが、より長期成績に優れると考えられています。最近発売されたため、まだ長期成績は不明ですが、3年以内に入れ替え手術が必要になる割合は3%と報告されています。



〈右足関節人工関節の術後〉

注) 術後写真は一例です。術前の関節の変形の程度等の要因で、全ての患者さんが同じ様な関節になるとは限りません。

人工関節ではなく、関節を残す手術が可能な場合もあります。手術に関するご質問があれば、村田、藤井、池崎医師の外来をお気軽に受診下さい。



文責：藤井貴之



### 外来担当医表

	月	火	水	木	金
107室					田淵
108室	大西	村上	田中	鬼澤	田中
109室	鬼澤	池崎	藤井	村田	村田/藤井
110室	山本				